

from the world  
世界の国  
から

## スリランカ民主社会主義共和国

首都……スリ・ジャヤワルダナプラ・コッテ  
面積……約6.6万km<sup>2</sup> (北海道の約0.8倍の広さ)  
人口……約1,873万人 (2001年)  
政体……共和制  
宗教……仏教、ヒンズー教など  
元首……C・B・クマラトウンガ大統領

# スリランカ 民主社会主義共和国

Democratic Socialist Republic of Sri Lanka



## ソフトウェア開発を柱に投資拡大を図る

### 東京など3カ所で 投資セミナーを開催

今年は、日本とスリランカの国交樹立50周年ということで記念行事が日本各地で行われ、それに合わせて「スリランカ投資セミナー」が福岡、東京、大阪の3カ所で開催されました。

2度目の来日 (前回: 1996年) 時に東京で開催したセミナーと比べると、参加者も平均で100名と大幅に増え、さらに詳しい情報を求められるなど大盛況でした。

また、現在スリランカに進出している日本企業は65社ほどですが、今回のセミナーではそうした企業の方からも話をさせていただきました。

### 安全なスリランカを アピール

2001年のスリランカ経済は、独立後初めてのマイナス成長となりました。その原因の一つは、7月に起きた「タミル・イーラム解放の虎 (LTTE)」によるコロombo国際空港襲撃事件です。

シンハラ人とタミル人との間に起きた民族対立による内戦は95年以降特に激しくなり、スリランカ経済に大きな打撃を与えてきました。

しかし、2002年2月、ようやく政府とLTTEが停戦に合意し、9月中旬には、タイでノルウェー政府の仲介のもと、和平交渉が行われるなど治安も安定してきています。

そのため、今回の滞在では、特に

不安を感じている日本の中小企業の方に「スリランカは安全な国」とアピールすることも大きな目的でした。

### さらに積極的な プロモーション展開を

今回、セミナーや個別の商談を通して、日本の企業からとてもいい感触を得られました。また、危険だといったイメージもだいぶ払拭することができたと思いますので、今後は今まで以上に積極的にプロモーションを展開していくつもりです。

また、スリランカは数多くの世界遺産があるなど、観光資源も豊富ですから、ぜひ一度、日本の企業の方にスリランカに足を運んでもらいたい。そうすれば、必ずこの国の良さをわかってもらえると思います。

C・イグネシアス  
スリランカ投資庁  
投資促進担当シニア・マネージャー  
Mr. C. Ignatius  
Senior Manager (Promotion)  
Board of Investment (BOI)



世界遺産の1つシーギリアロック  
(写真は2点ともスリランカ政府観光局提供)



南部のウェリガマ地方でよくみられるストルト・フィッシング (海中に立てた杭につかまって行う漁)

### ソフトウェア開発に 重点をおく

スリランカといえば「紅茶」が有名ですし、産業も以前は紅茶、米、ゴム、ココナッツなどの農業が中心でした。しかし、最近では工業化が進み、特にアパレル (衣類の縫製) が輸出品目の第1位となるなど、主要産業として成長しています。

また、隣国のインド同様、IT産業もとても盛んです。中でも力をいれているのがソフトウェア開発部門で、非常に優秀なエンジニアが大勢いることもあり、すでに日本のソフトウェア会社が3社進出しています。

今回の滞在中 (9月9日から11月8日) に日本の企業向けにプロモーションする案件の中にも、ソフトウェア開発関連の案件が多数含まれています。